

NPO法人 伊賀・水と緑の会

オオサンショウウオ 夜間観察会



三重県のオオサンショウウオは、主に伊賀地域の河川にいます(木津川水系や名張川水系など、大阪湾へ流れる川)。伊勢湾へ流れる河川でもまれに発見されるようです。

オオサンショウウオの
調査・研究を続ける よしひろ
清水善吉さん 川内彬宏さん



夜間観察会は2014年に始まり2025年で11回目。
講師に川内彬宏先生や清水善吉先生をお迎えし、
水資源機構の職員の方にもご協力をいただいています。

オオサンショウウオって？
みんなで勉強



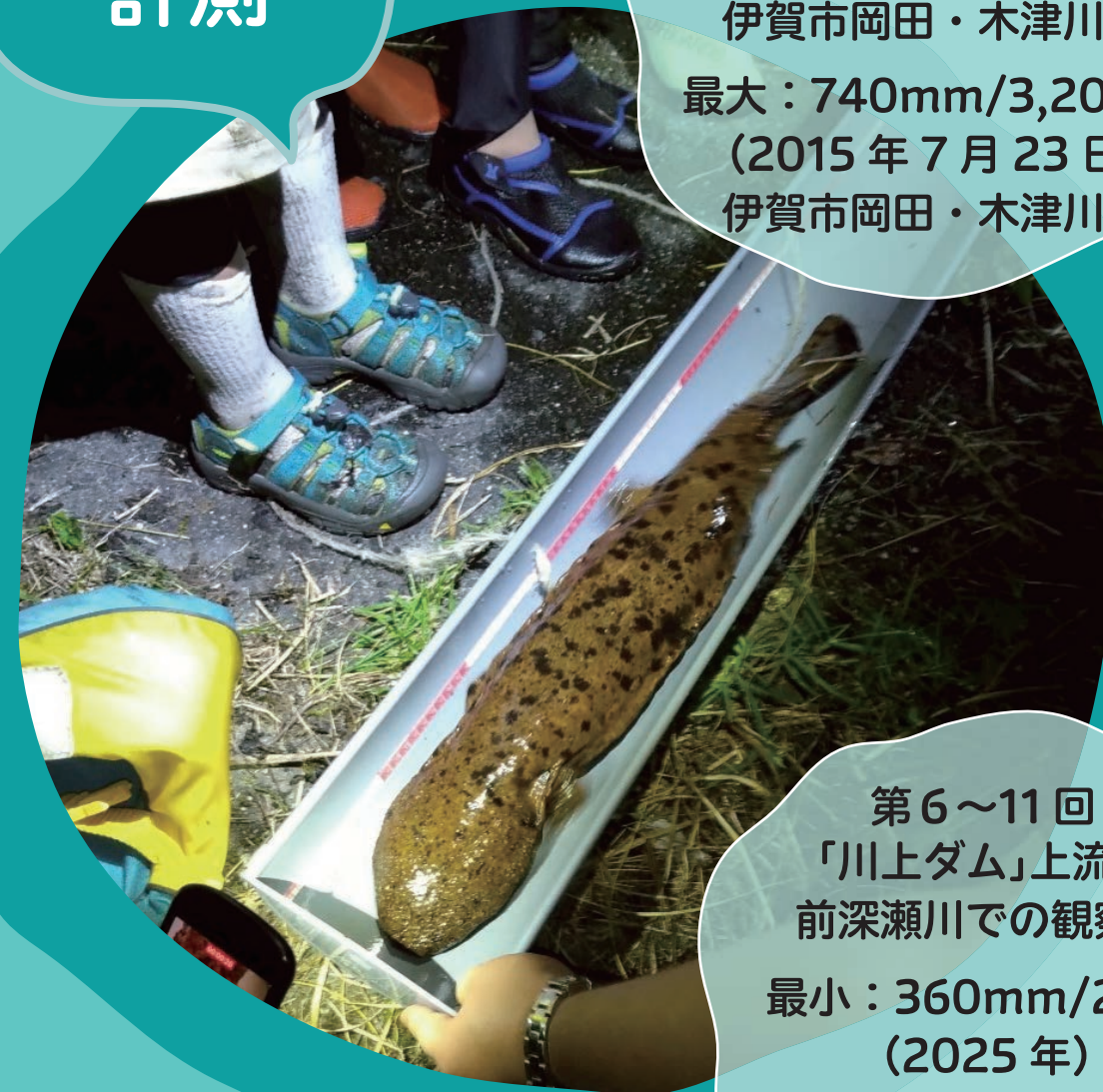
見つけた！

石が動いた！
と思ったから
びっくり！



計測

第1～5回の観察会
最小：335mm/250g
(2014年9月6日
伊賀市岡田・木津川)
最大：740mm/3,200g
(2015年7月23日
伊賀市岡田・木津川)



第6～11回
「川上ダム」上流の
前深瀬川での観察会
最小：360mm/240g
(2025年)
最大：780mm/2,200g
(2023年)

川へ！
みんなで探す



7月～9月
時刻は19:30ころ
暗くなってから。
水が濁らないうちに
すぐ見つかることが
多かったです。

以前に名張市赤目の
水槽でオオサンショウウオ
を見てから好きになりました。
実際に川にいるのを
子どもたちに見せて
あげることができました

こんなに身近な場所に
いるとは思わなかった。
手がかわいかった！



人類の誕生よりはるか昔、
3000万年前から姿を変えていない
オオサンショウウオを今日の前で
見ていることに感動しました

元の場所へ。
みんなで「さようなら」
また来年も会おうね。



2025年7月には11回目を
開催しました。今回見つかった
オオサンショウウオ。
全長36cmの小さな個体。

私たちは子どもたちや多くの人々に、伊賀市に特別天然記念物オオサンショウウオがいることを知ってもらい、触れてもらいたいと考えています。

伊賀市の「輝け！いがっ子憲章」の第1条にある“すべての生きものは(中略)互いに助け合って互いのいのちをを守っている。命は環境によって育まれている”ということを、この観察会を通じて伝えています。

市内外からの参加者は年々増えていて、リピーターも多く、関心の高さに驚きます。2025年の開催では34名の参加者がありました。

2019年からの観察場所は川上ダム上流の「前深瀬川」。ここはダム建設の際、2016～2021年にオオサンショウウオの移転がされたため見つかる可能性が高く、毎年見つかっています。ですが以前に別の場所で観察会をしていたときも毎年見つかっており、観察会が始まって以来オオサンショウウオが見つからなかったことは一度もありません。

これからダムの寿命と言われる100年後、さらにその先まで、この地の生物の動向を見届けていくことを、ダム建設を許可した国と水資源機構は、国民と、川にすむ生き物たちに約束をしました。私たち市民も見届けなければなりません。